

令和8(2026)年度 学校づくりビジョン

学校教育目標

木曾岬町立木曾岬小学校

家庭・地域とともに、笑顔で生きる力をそなえた木曾岬っ子を育む

めざす子どもの姿(知)

基礎学力を身につけ、自らよく考えて学ぶ子ども

分かる授業づくり

主体的な学習、学びの質を高め合う授業の創造

- 学びに向かう力の育成
 - ・ 学習の土台となる認知力の向上を図る
- 確かな学力の育成
 - ・ 基礎学力の定着
 - ・ ICTの教育的効果を活用した授業づくり
 - ・ 活用力(思考、判断、表現)を育む授業づくり
 - ・ コミュニケーション力の育成(外国語教育推進)
 - ・ 効果的な少人数学習(小集団・TT)の推進
 - ・ 個に応じた学習の工夫
- 学習習慣、読書習慣の定着
- 特別支援教育の推進

めざす子どもの姿(徳)

そとやさしく、自分を大切に、他者とつながり、支え合う子ども

なかまづくり

互いに認め合い、つながる関係づくりの創造

- 豊かな人間性の育成
 - ・ 良好な人間関係を築く対人力の向上を図る
 - ・ ルールを大切に守ること
 - ・ 思いを知り、他者とつながること
- 体験活動・異学年交流等による相互理解の心の涵養
- 「特別の教科 道徳」の推進による道徳性の涵養
- 人権教育の推進・充実

めざす子どもの姿(体)

健康で安全な生活を大切に、健やかな体づくりに努め、何事にもチャレンジする子ども

心身の健康づくり

健康・安全で、チャレンジする力の創造

- 健康で安全な生活を営む力の育成
 - ・ 『きそリズムカード』活用による生活習慣の定着
 - ・ 自他の生命を大切にする心の涵養
- 健やかな体の育成
 - ・ 体をうまく使う身体力の向上を図る
 - ・ 運動習慣の定着
 - ・ 生涯を通じて運動に親しむ心の涵養
- 食育・健康教育の推進

安全・安心な学校づくり

学び続ける姿を軸に、協働して学校づくりに努める！

教職員努力指針

- ・ 自他の実践を振り返り、学び続ける姿勢
- ・ 同僚性を基本として、協働していく姿勢
- ・ 対話を重視した学校運営、学年・学級経営
- ・ 総勤務時間縮減(時間外:月45時間以上・年間360時間以上0名、仕事や会議の効率化を図る)
- ・ 『選択と集中』によるカリキュラムマネジメントの推進
- ・ コンプライアンス意識の向上に努める

他機関との連携

家庭との協働

家庭・地域とともに協働して進める学校づくり(コミュニティ・スクール)

コミ・サポ活動(地域との協働)

地域活動への参加

きれいで整った教育環境整備

防災・安全教育の推進

キャリア教育「夢に向かって頑張る木曾岬っ子応援キャンペーン」の推進

郷土教育の充実